

ストップ！地球温暖化

1 地球温暖化のしくみ

地球は太陽エネルギーによって温められ、その熱の一部を宇宙に放出しています。大気中の二酸化炭素やメタンなどは「温室効果ガス」と呼ばれ、太陽エネルギーによって温められた熱を宇宙に逃がさない働きをしています。もし、温室効果ガスがなければ、地球の気温は低くなりすぎて、わたしたちは暮らしができません。熱の放出と保温のバランスがうまくつり合うことで、地球の平均気温は約14℃に保たれ、生き物が暮らすのにちょうど良い環境になるのです。



しかし、温室効果ガスが大量に増えると、大気中の熱が宇宙に放出されにくくなり、地球がどんどん暑くなってしまうのです。これを地球温暖化といっています。

2 地球温暖化の原因は何？

毎日わたしたちは、テレビを見たり、お風呂に入ったり、自動車に乗るなど、生活のいたるところで電気やガソリンなどのエネルギーをたくさん使っています。



これにより温室効果ガスのひとつである「二酸化炭素」が大量に発生し、地球温暖化の原因となっています。二酸化炭素が増えている原因は、わたしたちが便利な生活をおくることに大きく関係しているのです。

3 これからどうなるの？

このまま地球温暖化が進んで気温がぐんぐん上昇すると、世界中のさまざまな場所で悪い影響が出ると心配されています。

ア 異常高温

最近では、夏の気温が特に高い年とそうでない年との差が激しくなっています。夏の気温が高い年には異常高温によって熱中症にかかってしまう人が大変増えています。



イ 海面上昇

地球温暖化が進むと海水が膨張するなどして、2100年には海面が最大で平均60cm上昇すると言われています。海面が上昇すると、小さな島は沈んでしまい、海岸の砂浜はなくなってしまうおそれがあります。

ウ 台風の強大化

台風などの風水害が強大化し、洪水や高潮などの被害が多くなります。



エ 作物がとれなくなる

今までつくっていた農作物に適した気温でなくなり、収穫が減って世界中で食糧不足が起こるおそれがあります。



このほかに、種の絶滅や水不足、熱帯気候の病気の流行などといったさまざまな悪影響が懸念されています。



世界の約束「京都議定書」

地球温暖化を防止するため、平成9年(1997年)に世界の国々が京都に集まり話し合いを行いました。

この話し合いの中でヨーロッパや日本などの先進国は、温室効果ガスの削減を約束しました。

日本は2008年から2012年までの5年間に温室効果ガスを基準年(1990年)から6%削減することを決めて、京都議定書にその約束をまとめました。

しかし、2005年の排出量は、基準年から7.8%も増加してしまつたので、6%とあわせて合計13.8%の削減が必要とされているのです。

